平成２７年度

事 業 報 告 書

南房総市社協マスコットキャラクター「みなみん」

社会福祉法人南房総市社会福祉協議会

目　　次

○はじめに …… 3
1　地域福祉の推進
(1)地域福祉ネットワーク事業
① 地区社会福祉協議会と地域福祉フォーラム …… 6
② ふれあい交流事業 …… 8
(2)地域生活支援事業
① 介護者のつどい …… 11
② 敬老事業 …… 12
③ 福祉団体支援 …… 13
④ 福祉施設の運営(公益事業) …… 13
⑤ 法律相談事業 …… 14
(3)広報啓発事業
① 広報啓発 …… 15
② 社会福祉大会 …… 16
(4)福祉活動支援事業
① 福祉教育の推進 …… 17
② 子育て活動支援 …… 18
2　高齢者の在宅生活の支援
(1)在宅福祉支援事業
① 介護予防通所事業 …… 18
② ふれあいランチサービス事業 …… 19
③ 紙おむつ給付事業 …… 19
④ 交通空白地有償運送(旧過疎地有償運送) …… 20
⑤ 福祉車両・福祉機器貸出事業 …… 21
⑥ 日常生活自立支援事業 …… 22
⑦ 生活困窮者自立相談支援事業 …… 22
⑧ 応急援護資金交付事業 …… 23
⑨ 福祉機器リサイクル事業 …… 23
3　在宅生活を支援する資金の貸付
(1)資金貸付事業
① 福祉資金貸付事業 …… 24
② 生活福祉資金・老障資金貸付事業 …… 24
4　ボランティア活動の支援
(1)ボランティア活動支援事業
① ボランティア連絡協議会の運営 …… 24
② ボランティア・市民センターの整備 …… 24
③ ボランティア養成講座 …… 25

④ 災害救援ボランティア活動……26
⑤ ボランティア活動助成事業……26
5 共同募金運動の推進
(1)共同募金事業
① 赤い羽根共同募金運動……26
② 歳末たすけあい運動……27
6 居宅介護の支援
(1)介護保険事業
① 居宅介護支援事業……29
② 訪問介護事業……29
(2)障害福祉サービス事業
① 相談支援事業・居宅介護事業……30
(3)介護保険外事業
① 在宅生活支援事業……30
② 高齢者外出支援事業……31
7 社会福祉協議会の活動基盤整備
① 会員募集の状況……31
② 基金積立額……31
③ 理事会・評議員会の実施状況……32

平成27年度　社会福祉法人南房総市社会福祉協議会事業報告

○はじめに

本会は「互いにささえあい、誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現」を目指し、地域の方々や関係機関・福祉関係団体との協働により平成27年度の事業を実施いたしました。

新たな事業としては、今年度施行された生活困窮者自立支援制度に基づく「生活困窮者自立相談支援事業」を市から受託し自立相談支援員を配置し、また「日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）」についても県社協から受託し専門員を配置するなど、社協職員が持つ専門性を発揮できる組織体制とし、地域の方々へのより一層の生活支援体制づくりに努めました。

また地域のボランティアや地区社協の方々の協力をいただき、市から受託した介護予防通所事業（お達者サロン）を市内7地区で実施し、国が推進する地域包括ケアシステムにおける新たな地域支援事業及び介護予防事業の一環として、高齢者の健康づくり・生きがいづくりの充実を図って参りました。

発足から10年目の節目に際し、社会状況や運営資金面においても年々厳しく変化しており、今後の事業運営や組織体制についても改めて検討が求められる年でありました。

つきましては、平成27年度の活動状況を次のとおり報告いたします。

○平成27年度の主な事業活動の概要

（1）地域福祉の推進

地域にある様々なニーズ、課題を取り上げ解決する方策を協議し解決を図るために住民の方々との協働による「地域福祉フォーラム」を10地区で開催し、地域の課題を地域で解決していくシステム作りを継続的に支援しました。また、活動報告会を開催し、各地区の成果発表・情報交換を行いました。

相談事業では、多様な福祉課題がある中で、より専門的な相談支援機能の強化を図るため弁護士・司法書士による無料法律相談を毎月開催し、身近な地域で専門相談ができる支援に努めました。

広報啓発事業では、広報紙「てんだぁ」の発行と併せ、「ホームページ」「ツイッター」「フェイスブック」などインターネットを利用し、新しい情報の提供に努めました。また社協発足10周年を記念した「第10回南房総市社会福祉大会」では、福祉功労者の功労を讃えるとともに、社協事業のピーアールやボランティア活動の発表などを行い、福祉をより理解していただくことに努めました。この大会も、恒例となり年々参加者も増加傾向となっています。

福祉教育の推進としては、思いやりの心を育むため市内の児童・生徒の皆さんに「福祉体験講座」「サマーボランティアスクール」への参加や「福祉作文の募集」を行い、福祉に対する知識や理解を深めてもらうことに努めました。

（2）高齢者等の在宅生活の支援

閉じこもりを予防し、より身近な地域で集い交流する介護予防通所事業「お達者サロン」を７地区で開設しました。サロンに参加し、地域の方々と交流することで、高齢者の生きがいや励みとなっていることは、介護予防に大きく寄与しているものと思われます。

移動困難者を対象とした「交通空白地有償運送（旧過疎地有償運送）」により、ボランティアやホームヘルパーが通院や買い物等の送迎をし、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう支援しました。超高齢化の進む当市においては、今では移動困難者の通院や買い物など日常生活には不可欠なサービスとなっています。

高齢者や障がいをお持ちの方々が自立した生活ができるよう、財産管理や福祉情報の提供などをサポートする「日常生活自立支援事業」を、今年度から県社協から受託し実施しました。住民の中から募った生活支援員の募集、養成を行いサービス体制作りに努めました。

生計困難者の自立支援として、「生活困窮者自立相談支援事業」を市から受託し、専門の職員を配置し、相談者に寄り添いながら自立して安定した生活が送れるよう支援に努めました。事業を実施するなかで、これまで潜在的となっていた生活上の問題を抱える方々が、多いことがわかり、他の貸付制度などと併せ社協の専門性を発揮できる新たな事業となりました。

ボランティアの協力による手作り弁当を宅配し、安否確認を行う「ふれあいランチサービス事業」では、多くの地域の方々の協力により成り立っており、サービスを通して孤立しやすい一人暮らし高齢者を地域で見守るコミュニティーづくりの取り組みとしてより定着しています。

（3）在宅生活を支援する資金の貸付

地域の低所得世帯の経済的な自立を促し、地域社会で安定した生活の確保を図ることを目的に資金の貸付を行いました。貸付にあたっては、行政や地域の民生児童委員・県社協と連携のうえ貸付世帯が自立できるよう適切な貸付にあたりました。相談内容は年々複雑多様化しており、単なる貸付だけではなく個別の生活支援という観点からも要望が増えていますので、今年度は「日常生活自立支援事業」「生活困窮者自立相談支援事業」と併せ、総合的な支援をしていくよう取り組みました。

（4）ボランティア活動の支援

市内で活動するボランティア団体の組織強化や、ボランティアの登録・あっせん、養成講習及びボランティア保険の加入等により活動環境の更なる充実を図りました。また、介護予防・日常生活自立支援総合事業の推進に向け、地域の高齢者等の生活を支援する「サポーター」を養成する「介助ボランティア講座」を開催し、地域活動である「お達者サロン」のボランティアや地区社協ボランティアとして協力いただくよう支援しました。

また今年度も「災害ボランティアセンター」の立ち上げ訓練を実施し、実際の被災ボラセンの運営を想定したシミュレーションを行い、それぞれの役割と連携を確認しました。

「サマーボランティアスクール」では中学校や関係施設・ボランティアの協力により、市内中学生を対象に車椅子・高齢者疑似体験や施設でのボランティア体験を行い、若年層のボランティア育成に努めました。

（5）共同募金運動の推進

今年も地域福祉活動の推進を目指し全国一斉に行われた共同募金運動は、地域の方々

のご理解・ご協力のもと活動が展開されました。また、歳末助け合い運動では市内の中学生や民生委員さんも街頭募金に参加し、活動の輪が広がりました。寄せられた募金については配分委員会で配分方法等について検討し、地域福祉事業や要支援世帯へ配分しました。

全国的にも、募金の低迷が課題となる中で、当市においてはほぼ前年並の募金が寄せられ、地域の方々の福祉に対する意識の高さが伺える結果となりました。

（6）居宅介護の支援

より質の高いサービスを提供するため、行政や地域包括支援センター・民生児童委員協議会等の関係機関と連携し、利用者の生活状況やもてる能力に応じたサービスの向上に努めてきました。ですが、当地域では施設サービスが充実してきており、訪問介護などの在宅介護サービスには限界が伺える現状でした。そこで、当社協では介護保険制度施行以前から、高齢化が進む中で地域の不足する介護サービスを補う意味で実施してきましたが、ある程度の使命達成の感もあり、徐々に事業の集約を図ってきました。次年度以降は、外出支援サービスなど、他事業所が実施しないサービスを主とした、多様なニーズの補完的な役割を持って社協らしいサービス提供に努めます。

（7）社会福祉協議会の活動基盤整備

法人発足から10年目を終えた本会ですが、依然として運営資金は市に依存せざるを得ない状況が続いています。しかしながら支えとなる市においてもその財政は年々厳しさを増しており、本会への支援の在り方についても毎年厳しい指摘がなされてきました。

社会福祉法が改正され、施設などを経営する社会福祉法人も、地域への福祉活動へ参画することが求められるようになり、地域福祉の更なる充実が期待されるところです。本会は、これまで永年にわたり地域の方々と協働に加え、社会福祉施設や他の関係機関との連携を強化し、地域支援活動の充実に向け取り組を進めて参りました。そのような中、今年度は、生活困窮者自立相談支援事業や日常生活自立支援事業など、これまでにない個別生活支援にも本格的に取り組み、徐々にその成果も現れてきており、社協でなければできない専門性を活かした体制が整ってきました。これまでも、理事会、評議員会等で事業運営方針や各センターの在り方について検討しましたが、今後はその議論を更に進め、限られた職員体制の中でいかに効率良い組織運営を行うかを見極めていく必要があります。

以上のように、平成27年度においても、住民の方々と協働を主体とした活動に併せ、専門性を備えた民間の社会福祉団体として、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らすことのできる「福祉のまちづくり」を目指した福祉活動を広く実施しました。

1　地域福祉の推進

(1)地域福祉ネットワーク事業

①地区社会福祉協議会と地域福祉フォーラム

助け合い、支え合いの精神のもと市内16の地区社協で交流会や会食会を通し地域支援活動が実施されました。また地区社協の連携を図るため連絡会議を開催しました。各地区の事業報告を発表し、情報交換や地区社協相互の連絡調整、地域福祉の推進について活動方針が検討されました。

また「話し合いと支えあうまちづくり」を目指し、市内10地区で地域福祉フォーラムが設置され、引き続き地域課題を地域で解決できるようなネットワークづくり、仕組みづくりが進められました。さらに、「南房総市地域福祉フォーラム」では各地区の代表者が一堂に会し、活動成果の発表・情報交換を行いました。

★地区社会福祉協議会の活動内容

No	地区社協名	活　動　内　容
1	富浦地区社会福祉協議会	学校・民生委員等と合同会議を開催、いきいきサロンを開催し交流を図る。
2	八東地区社会福祉協議会	学校・民生委員等と合同会議を開催、いきいきサロンを開催し交流を図る。
3	岩井地区社会福祉協議会	地区別（7地区）サロン及び全体の会食会を開催し、安否確認や介護予防の活動を行う。
4	平群地区社会福祉協議会	小地区でいきいきサロンの開催、地域の神社清掃を実施し、地域住民との交流を図る。
5	滝田地区社会福祉協議会	いきいきサロンの開催、独居高齢者友愛訪問を実施し、地域住民との交流を図る。
6	国府地区社会福祉協議会	いきいきサロンの開催、独居高齢者友愛訪問を実施し、地域住民との交流を図る。
7	稲都地区社会福祉協議会	いきいきサロンの開催、ハザードマップの修正、独居高齢者友愛訪問を実施し、地域住民との交流を図る。
8	白浜地区社会福祉協議会	地域別高齢者のつどい、二世代交流、家庭介護教室を開催。広報誌を発行し、地域の方々へ広報啓発を図る。
9	長尾地区社会福祉協議会	二世代交流グラウンドゴルフ、地区別高齢者のつどいを開催し、世代間交流を図る。
10	千倉地区社会福祉協議会	「高齢者ふれあいの日」を年3回企画開催し、地域の子供達や参加者同士の交流を図る。
11	丸　地区社会福祉協議会	小規模一人暮らし高齢者会食会、友愛訪問などを実施。環境美化活動・歳末たすけあいのしもち配布事業に協力し、地区住民との交流を図る。

12	南　地区社会福祉協議会	ふれあいサロン、友愛訪問を実施。環境美化活動・歳末たすけあいのしもち配布事業に協力し、地区住民との交流を図る。
13	南三原地区社会福祉協議会	配食サービス・福祉まつりを実施。ふれあい会食会を開催し、幼稚園園児・小学校児童との交流を図る。地区へ広報紙を配布し、社協活動の周知を図る。
14	上三原地区社会福祉協議会	配食サービス・福祉まつりを実施。ふれあい会食会を開催し、地域住民同士の交流を図る。
15	北三原地区社会福祉協議会	配食サービス・福祉まつりを実施。ふれあい会食会を開催し、小学校児童との交流を図る。
16	和田地区社会福祉協議会	配食サービス・福祉まつりを実施。高齢者のふれあい会を開催し、幼稚園園児・小学校児童との交流を図る。

★地域福祉フォーラムの活動内容

No	フォーラム名	活　動　内　容
1	岩井地区地域福祉フォーラム	「団塊世代と地域参加」をテーマに話し合いを実施。シニア世代に向けた料理教室を開催した。
2	平群地区地域福祉フォーラム	「いきいき元気に健康で暮らせるために」をテーマに健康講演会を開催し、「健康な体をつくろう」と題し、地域で元気に過ごせる介護予防の取り組みを実施した。
3	滝田地区地域福祉フォーラム	「住みよい福祉の里づくりの集い」をテーマに「認知症について」の講演会を開催し、地域交流を図った。
4	白浜地区地域福祉フォーラム	「家庭介護教室」「防災に関するフォーラム」を開催し、在宅介護の問題や防災に関する地域住民の意識を高めた。
5	千倉地区地域福祉フォーラム	「千倉中学校防災フォーラム」フォーラムを開催し、地震・津波について再確認した。 「千倉地区要生活支援者の現状と問題点について」フォーラムを開催、地区の高齢者問題を話し合った。

6	丸山地区地域福祉フォーラム	全地域住民が「おたがいさまネットワークまるやま」で結ばれ、「困ったときはおたがいさま」が発揮できるよう「救急医療情報キット」の配布や市防災マップへの記入、意見交換を行った。また、「認知症カフェおたがい茶間」の取り組みについて話しあった。
7	南三原地区地域福祉フォーラム	「認知症者に対する地域の関わり方」をテーマとし、意見交換を行い、委員会で2回の学習会を実施。「認知症初期の方の症状と心理・地域で支えるための理解」と題し、講演会を開催し地域住民の理解を深めた。
8	上三原地区地域福祉フォーラム	健康寿命を伸ばし、寝たきりにならないために「心も体も喜ぶ！体にやさしい健康体操」と題して講演会を開催。地域内の交流を図り、安心安全に暮らすために情報を共有した。
9	北三原地区地域福祉フォーラム	地元駐在所警察官による高齢者の交通安全や振り込め詐欺の講話・高齢者ふれあい交流会を開催。地域の課題を協議検討した。
10	和田地区地域福祉フォーラム	「ずっと住みたい安心の町づくり」をテーマにハザードマップをもとに要支援者への周知として「緊急情報カプセルについて」や防災として避難場所や経路を実際に確認し、情報の共有化を図った。

【事業評価】

地域福祉フォーラムを通して地域ぐるみで地域の課題やニーズを協議し、さらには自主的な支援体制づくりが進められたことは大きな成果になっています。地域福祉フォーラムの補助金については今年度をもって終了となります。地区によっては、今後も自主的に地域福祉フォーラムを継続していく地区もあり、地域に根差した活動がますます期待されます。

地区社協活動では補助金の減額がありました。今後も事業内容については検討し、地域の実情に合わせた効果的な事業展開ができるよう努めます。

②ふれあい交流事業・・・延べ1，378人参加

「ふれあい」をテーマに、地域にあった交流会や行事がボランティアや老人クラブ・学校等の協力により各地区で開催されました。本事業は地区の事業によっては学校や幼稚園の教科にも組まれ毎年恒例となり、参加者は生きがいづくりのきっかけとして大変楽しみにされている事業の一つとなっています。

（1）富浦地区ふれあい交流事業

事業概要：富浦地区にお住まいの高齢者と富浦小学校児童との交流。
軽スポーツを通じて交流を図ることを目的に開催。

回数	開催日	内　　容	開催場所	参加者数
第1回	11月8日	富浦地域づくり協議会と一緒に軽スポキッズ大会（高齢者も参加し、軽スポーツを通じ世代間交流を図った。）	富浦中学校体育館	42人
総　　計				42人

（2）富山ふれあい交流事業

事業概要：富山地区にお住まいの高齢者を対象に、お達者サロン利用者（富山地区）や地域の子供達と交流を図る。

回　数	開催日	内　　容	開催場所	参加者数
第1回	12月14日	富山幼稚園児と高齢者と交流 園児による発表・ふれあいレクリエーション	富山幼稚園	29人
総　　計				29人

（3）三芳地区ふれあい交流事業

事業概要：三芳地区にお住まいの高齢者が、幼稚園児達と触れ合うことにより生きがいを感じてもらうことを目的とする。

回数	開催日	内　　容	開催場所	参加者数
第1回	10月7日	老人クラブ会員と幼稚園年長組との交流。園児による歌・ダンスの披露とじゃんけん・手遊びゲームで交流。	三芳農村環境改善センター	132人
第2回	1月27日	高齢者と三芳子ども園児と園児の祖父母との交流。手遊びやゲームで交流。	三芳子ども園	141人
第3回	2月4日	高齢者と三芳子ども園児が餅つきや餡びん餅をつくり交流。		118人
総　　計				391人

（4）白浜いきいきクラブ交流事業

事業概要：白浜地区にお住まいのお年寄りを対象に、お達者サロン利用者と交流を行う。レクリエーションや行事を通してお年寄り同士の交流を図ることを目的とする。

回数	開催日	内　　容	開催場所	参加者数
第1回	6月9日	うきぐも会による歌や踊り披露、お茶タイム 団らん・保健師による健康講話。	白浜フローラルホール	28人

第 2 回	11月24日	平舘むつみ会による歌や踊り披露・レクリエーションで交流。		35人
総　　計				63人

（5）千倉地区高齢者ふれあいの日

事業概要：千倉地区にお住まいの 65 歳以上の一人暮らし高齢者を対象とした健康増進及び相互の親睦と世代間交流を図ることを目的とする。

回数	開催日	内　　容	開催場所	参加者数
第1回	6月26日	千倉小4年生による発表 市保健師による健康相談 御子神玲子先生による栄養の話 花澤流蕃扇会による芸能披露	ちくら介護予防センター ゆらり	169人
第2回	9月25日	千倉小4年生による発表 市保健師による健康の話・健康相談 あわの実による人形劇鑑賞		151人
第3回	12月18日	千倉子ども園園児による発表 市保健師による健康相談・軽体操 鈴木和子さんによる認知症に関する話 押本忠光さんによるマジック披露		67人
総　　計				387人

（6）丸山地区高齢者いきいき交流会

事業概要：丸山地区にお住まいの高齢者（70 歳以上）が集い1日楽しく過ごすことにより、生きがいと健康増進を図り在宅福祉の増進を目的とする。

回数	開催日	内　　容	開催場所	参加者数
第1回	5月29日	南幼稚園児によるダンス 一人芝居披露 警察官による振り込め詐欺の話 鴨川市民謡保存会による芸能披露 保健師による血圧測定・健康相談	丸山公民館	126人
第2回	10月23日	丸山保育所の園児によるダンス披露 丸山地区のサークルによる民謡披露 市市民課による「マイナンバー」の話 ボランティアによるお楽しみタイム 和田民舞の会による舞踊披露 保健師による血圧測定・健康相談		105人

第3回	2月27日	寿々木一座による踊り披露・健康体操 東光院住職による講話「今日から開運！」 若荻会による芸能披露 保健師による血圧測定・健康相談		107人
総　　計				338人

（7）和田ふれあい交流事業

事業概要：和田地区にお住まいの高齢者と和田小学校児童が昔遊びを通じて世代間の交流を図る。

回数	開催日	内　　容	開催場所	参加者数
第1回	11 月6日	和田小学校1・2年生との交流 人形劇団「ころころ」による人形劇鑑賞 地域ボランティアによる紙芝居、高齢者と一緒にうぐいす笛づくり	和田コミュニティーセンター	105人
総　　計				105人

（8）いちご一会 de 恋活事業（婚活イベント）

事業概要： イベントを通して男女の出会いの場を提供する。参加された方々が楽しみながら、カップルができるよう支援した。

開催日	内　　容	開催場所	参加者数
3月13日	いちご狩り、地元のカフェでランチをしながら交流	とみうら枇杷倶楽部 なぎさカフェ	男11人 女12人
総　　計			23人

【事業評価】

地区の特色を生かした交流事業を通して、地域ぐるみ活動の充実や福祉教育の推進・地域で助け合える支援体制づくりにも大きな効果が表れています。次年度からは、地区社協活動としてサロンや会食会、交流事業を実施していますので、地区社協活動更なるの充実を図るため、ふれあい交流事業として地区開催を見直しながら検討し実施します。

恋活イベントには、前結婚相談員の協力を得て 3 組のカップルが誕生しました。今後については、市では同様の事業を実施しているため、27 年度をもってこの事業は終了します。

（2）地域生活支援事業

①介護者のつどい

在宅介護をしている方や介護に関心のある方を対象に相互の交流・情報交換や介護で抱える共通の悩みを話し合い、お互いに理解しあえる時間を作ることにより介護者の心身のリフレッシュを図りました。

開催日	内　　容	開催場所	参加者数
7月22日	○家庭に取り入れるメディカルアロマの基礎講座 講師：小規模多機能　ろくじろう 小池　美喜子さん ○認知症カフェ	とみうら元気倶楽部	25人
2月1日	○認知症カフェつむぎ見学参加 認知症カフェについてお話しを伺い情報交換や交流会を実施 講師：認知症カフェつむぎ 代表　岡山　貢一さん	認知症カフェつむぎ	9人
総　　計			34人

【事業評価】

介護者も介護される方々も、自宅でできるメディカルアロマを使用したリラックス法やまた、現在地域で徐々に広まりつつある「認知症カフェ」について取り上げ、介護者のつどいを実施しました。

アロマオイルを利用したリラックスは、皆さん好評で自宅での実践につながりました。認知症カフェの見学では、若干参加者が少なかったのが残念ですが、「身近に心を癒せる場所」があることを知る良い機会となりました。

参加者の意向を踏まえ、次年度も内容を検討して実施したいと考えます。

②敬老事業

（1）南房総市敬老会（市受託）

市内の高齢者に長寿に対する祝意と生きがいの増進を図るため多くのボランティアの方々にご協力いただき敬老会を開催しました。また、高齢者の手作りの作品を展示する「高齢者名作展」を同時開催しました。

開催日	内　　容	開催場所	参加者
9 月 19 日	・式典 ・プロ芸人により芸能ショー 歌謡ショー〔松原のぶえ〕 ものまね 〔春ちゃん〕 （同時開催） 高齢者名作展 作品数　手芸・写真など 87点	千葉県南総文化ホール	1,095 人

（2）結婚50周年祝賀事業

結婚 50 周年をお迎えのご夫婦に敬意と祝意を表し、記念品を贈り祝賀会を開催しました。祝賀会には 90 名の出席があり、夫婦とも健康で仲睦まじく過ごせた歳月を振り返り、和やかに過ごし、今後の生きがいにつなげていただきました。

（対象：昭和 40 年 9 月 1 日～昭和 41 年 8 月 31 日の間に結婚され市内にお住いのご夫婦）

開催日	内　　容	開催場所	希望対象ご夫婦
10 月 27 日	・記念品贈呈（記念写真・夫婦茶碗）	富浦ロイヤルホテル	85 組

	・祝賀会（会食・音楽と共に懐かしいひとときを：演奏会・お楽しみ抽選会）		

（3）高齢者肖像画贈呈事業

長寿をお祝いし、市内最高齢者20名に肖像画を贈呈しました。社協会長が自宅までお届けし、ご家族にも大変喜ばれています。（大正４年４月２日～大正５年４月１日までに生まれた方）

★地区別贈呈数

地区名	対象該当数
富　浦	３名
富　山	２名
三　芳	３名
白　浜	４名
千　倉	３名
丸　山	４名
和　田	１名
合　計	20名

【事業評価】

市受託事業の敬老会は、人気の歌手ということもあり、予想以上の申込みがありました。当日は多くのボランティアのご協力をいただき、事故もなく盛会に終了しました。結婚50周年対象ご夫婦は、年々参加者が増えてきており、今年度から会場を市内のホテルで参加負担金をいただき実施しました。普段とは違うホテルの雰囲気の中で、演奏会や抽選会を楽しんでいただけたと思われ、参加者にも好評でした。高齢者肖像画贈呈事業については、白寿のお祝いとして贈り、大変喜ばれています。

③ 福祉団体支援

福祉団体の事務局として市福祉団体（5）、各支部福祉団体（21）の自主運営の促進と団体の事務支援・連絡調整等を行いました。

福祉団体名	会議	研修会	事業
南房総市民生児童委員協議会	10回	9回	5回
南房総市老人クラブ連合会	4回	2回	4回
南房総市遺族会	4回	3回	5回
南房総市ひとり親福祉会	3回	2回	10回
南房総市心身障害者（児）福祉会	5回	2回	6回

④福祉施設の運営（公益事業）

市内社会福祉施設（浴場等）の指定管理委託を受け、施設利用者へのサービスの充実を図りました。10月からの減免料金廃止による影響もあってか、昨年度より利用者は795人減少していますが、地元の方を中心に、地域の方の憩いの場・交流の場となっています。3月末をもって指定管理基本協定が満了となりましたが、平成28年度以降5年間の期間更新となっています。

★ちくら介護予防センターゆらり…延べ利用件数　　（単位：件）

	25年度	26年度	27年度	前年比較
利 用 者 数	11,856	12,404	11,609	△795
施設利用件数	453	494	537	43

⑤法律相談事業

千葉県弁護士会と千葉県司法書士会館山支部に委託し市内7地区において、法律問題解決の糸口をつかんでいただくため弁護士・司法書士による法律に関する専門的な相談を無料で受付け、地域の方々が安定した生活をおくれるよう支援しました。相談内容は不動産や離婚・相続問題等年々複雑多様化しています。

★開設実績

内　容（延べ数）	25 年度	26 年度	27 年度	前年比較
開設日数	12 日	12 日	12 日	-
相談員数	12 人	12 人	12 人	-
相談件数	64 件	63 件	63 件	0

★内容別件数

	内　　容	件　数
1	不動産（土地・境界・家屋・墓地・その他所有物）	11
2	相続（遺言・遺産等）	21
3	金銭（借金・貸金の請求・家賃滞納・カード関係）	3
4	離婚・再婚	6
5	家族・親族	2
6	法律・規則	1
7	事故・事件・犯罪等	3
8	契約	2
9	労働	1
10	各種保険	1
11	財産	1
12	その他	11
合　　計		63

★開催場所

開催月日	開催場所	担当相談員	
4 月 30 日	ちくら介護予防センターゆらり	弁 護 士	村松浩二
5 月 28 日	和田地域福祉センターやすらぎ	司法書士	堀川　貢
6 月 25 日	とみうら元気倶楽部	弁 護 士	髙橋信正
7 月 30 日	丸山公民館	司法書士	山﨑勝弘

8 月 27 日	富山公民館	弁 護 士	関川正則
9 月 24 日	白浜保健福祉センターはまゆう	司法書士	江澤正志
10 月 29 日	三芳保健福祉センター	弁 護 士	関川正則
11 月 26 日	白浜フローラルホール	弁 護 士	山口　仁
12 月 24 日	富山公民館	司法書士	酒井敏行
1 月 28 日	丸山公民館	弁 護 士	浜名　泰
2 月 25 日	とみうら元気倶楽部	司法書士	小林裕明
3 月 24 日	和田地域福祉センターやすらぎ	弁 護 士	渡邉秀孝

【事業評価】

毎月開催していますが各回ほぼ定員に達し相談の需要は少なくありません。来談者アンケートで「実務的な指導をしていただけた。」や「分かりやすく説明してもらえた。」との回答が多く、近場で開設していることもあり、高い満足度となっています。

(3)広報啓発事業

①広報啓発

(1)広報紙の発行

福祉情報の提供と地域福祉をよりご理解いただくため、広報紙「てんだぁ」を発行しました。住民の方々の声を反映させ親しみやすい紙面作りに努めました。

★発行部数

広報紙「てんだぁ」	発行部数
33号発行(27年7月発行)	15,700 部
34号発行(27年10月発行)	15,300 部
35号発行(28年1月発行)	15,300 部
36号発行(28年4月発行)	15,300 部
年間発行部数	61,600 部

(2)ホームページの開設と更新　年間アクセス数・・3,991 件(27 年 4 月～28 年 3 月)

社会福祉協議会の組織、事業等の紹介や福祉情報を提供するためのホームページを公開しました。また、ツイッターやフェイスブックによりリアルタイムでの情報を提供しました。

南房総市社会福祉協議会　ホームページアドレス

URL: http://www.shakyo-minamiboso.or.jp/

【事業評価】

市内の各世帯に配布している広報紙は、掲載記事の問い合わせもあり、地域の方々の関心が高くなっています。また、ホームページ・ツイッター・フェイスブックは全国各地からアクセスがあり、若年層からの支持を得ています。ホームページのアクセス数が若干減っていますが、流行の SNS を使用し、リアルタイムの情報提供に努めましたが、次年度はリニューアルを含め検討していきます。

②社会福祉大会

地域住民の方々が一堂に会し、今後の福祉活動の方針を位置づけるとともに多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を表彰する場としました。今年度は、南房総市社会福祉協議会 10 周年の年でもあり、特別表彰も実施しました。また小中学生による福祉作文の発表や募金箱コンクールの表彰を実施し、子どもから高齢者までより幅広く多くの方々に参加していただく大会としました。

開催日	内　　容	開催場所	参加者数
2月13日	○式典 福祉功労者の表彰等 ★千葉県社会福祉協議会長表彰の伝達（1 団体） ・八束地区社会福祉協議会 ★千葉県社会福祉協議会長感謝状の伝達（1 団体） ・和田　南三原地区小域ボランティア ★千葉県共同募金会長感謝状の伝達（7 地区） ・富浦 深名区・富山 荒川区・三芳 上堀区 ・白浜 下沢区・千倉 忽戸区・丸山 丸本郷区 ・和田 真浦区 ①南房総市社会福祉協議会長表彰 地域福祉活動功労者（10 名） ・坂本洋夫・渡邊利昌・大塚喜代・酒井靜江・仲村弥生 ・宇山文枝・加藤京子・髙木光路・吉田慶子・大和田慎一 地域福祉活動功労団体（4 団体） ・絵本読み聞かせボランティアグループ　あひるの会 ・八重会・人形劇団ころころ・なみはらっこくらぶ ②南房総市社会福祉協議会長感謝状（6 名・（団体）） ・笹子吉孝　黒田幸宏　笹子大輔　・生稲妙子 ・演歌親睦協会千葉県事務局　・南総歌謡連盟 ・千倉ゴルフクラブ・鋸南ロータリークラブ ③南房総市社会福祉協議会設立 10 周年記念特別表彰状（10 団体） ・白浜　根本区・千倉ゴルフクラブ ・南房総市体育協会白浜支部ゴルフ部・株式会社おどや ・演歌塾・丸山・ラリーチームホットスタッフ ・演歌親睦協会千葉事務局・大貫青年会 ・大貫小松寺もみじ祭り実行委員会・富浦建設協同組合 ④南房総市社会福祉協議会福祉作文表彰状 ・最優秀賞 2 名、優秀賞 4 名、優良賞 6 名 ⑤共同募金会南房総市支会募金箱コンクール表彰状 ・最優秀賞 2 点、優秀賞 4 点、優良賞 4 点 ○福祉作文の発表 ○記念講演 講師　山本コウタロー（フォークシンガー・白鴎大学教育学部教授） 健康で楽しく、第二の人生を生きるためには トーク＆ライブ♪	三芳農村環境改善センター	約 400 人

同時開催

2月13日	＜南房総市ボランティア連絡協議会主催＞ 〇ボランティアまつり ボランティア連協主催の餅つき大会バザーを実施 ボランティア活動の紹介や手作り小物展示 手作り製品の販売、喫茶コーナー、絵本の読み聞かせや人形劇、みなみん塗り絵コーナー （23グループ）	三芳農村環境改善センター	約 200 人

【事業評価】

天候にも恵まれ終始多くの来場者で賑わいました。また、第二部では記念講演を楽しみに参加された方々で満席となりました。平成25年度からは「ボランティアまつり」を市ボランティア連協主催とし、実行委員会を開き自主的に運営していただきました。今年度は餅つき大会の他新たにバザーを企画し実施していただきました。発表では、踊りだけでなく手話や読み聞かせ・人形劇など子供の発表もあり各分野の特性を生かした発表となりました。各出店や発表はボランティアの大きな励みとなっており、地域の皆様に社協をより理解していただく機会となりました。なお今年度も、安房地区の障害者施設の方々の参加もあり、来場者の増加にも繋がったものと思われます。次年度より多くの方々の参加をめざし、楽しい企画で取り組みたいと考えます。

(4)福祉活動支援事業

①福祉教育の推進

小・中学校、高校の児童生徒に幼いころから思いやりのある優しい心を育んでもらうことを目的に福祉教育を推進する学校へ助成金を交付しました。

各学校では助成金を財源に、美化活動をはじめ福祉施設との交流、地域の高齢者との交流、エコキャップ収集など学校の実情に合わせて福祉教育に取り組んでおり、それらの活動や福祉に対する思いを福祉作文として応募していただき、社会福祉大会時に発表することで大いに励みとなっています。

★福祉教育推進助成金交付校

小学校名			中学校名		高校名
富浦小学校	富山小学校	三芳小学校	富浦中学校	富山中学校	安房拓心高校
白浜小学校	千倉小学校	丸小学校	三芳中学校	白浜中学校	
南小学校	和田小学校	南三原小学校	千倉中学校	嶺南中学校	
9 校			6 校		1 校

★福祉作文コンクール

市内の小中高校より416点の作文の応募があり、その中から優秀作品12点を選び、最優秀作品2点を社会福祉大会時に発表していただきました。

（敬称略）

	表　　題	学校名	学年	氏　名
最優秀賞	はるさんとの思いで	富浦小学校	4 年	池田海颯
	言葉と音	富山中学校	2 年	渡辺いづ美
優秀賞	不思議な力	和田小学校	6 年	石井実咲

	福祉体験をして	南小学校	6 年	小髙知里
	職場体験を通して	嶺南中学校	3 年	池田友佳里
	思いやりの町	白浜中学校	2 年	宇山日和
優良賞	ぼくのおばあちゃん	千倉小学校	4 年	鈴木基也
	介護することの大切さ	南小学校	6 年	樋口真桜
	ぼくの考える介護	和田小学校	6 年	小滝竣也
	障害者も健常者も同じ	富山中学校	2 年	井野日菜乃
	福祉体験で学んだこと	白浜中学校	2 年	安田結貴
	超高齢化社会になる前に	嶺南中学校	3 年	芳﨑はづき

【事業評価】

年々、福祉体験講座等の事業も定着してきており、学校からの依頼も多くなってきました。そして 27 年度の福祉作文の応募は 99 点ほど増えており、福祉の担い手となる児童生徒への取り組みとして期待され、今後も継続して実施したいと考えます。

②子育て活動支援

子育て環境の充実支援のため、学童保育指導員の派遣を引き続き行いました。

2 高齢者の在宅生活の支援

(1)在宅福祉支援事業

①介護予防通所事業 (お達者サロン)市受託

参加される方が身近な場所で交流することで閉じこもりを予防し、生きがいを見いだし元気に過ごしていただくことを目的として、お達者サロンを開催しました。

★年間延べ利用者数 (単位:人)

	富浦	富山	三芳	白浜	千倉	丸山	和田	合計
26 年度	380	1,488	220	642	220	107	422	3,479
27 年度	625	1,373	233	313	514	206	736	4,000

★実施と実施場所

	お達者サロン内房	お達者サロン朝夷
月曜日	富山ふれあいスポーツセンター	和田地域福祉センターやすらぎ
火曜日	富山ふれあいスポーツセンター	白浜フローラルホール
水曜日	とみうら元気倶楽部	丸山公民館
木曜日	三芳保健福祉センター	和田地域福祉センターやすらぎ
金曜日	富山コミュニティーセンター	ちくら介護予防センターゆらり

【事業評価】

平成 26 年度より新たな事業としてお達者サロンを実施し 2 年目となりました。支援員を各所 2 名配置し、各地区の利用者の参加増をめざし実施してきました。利用者も増えて、かなり定着してきました。今年度の後半からは、次年度に向け、地域のボランティアや地区社協の方々の協力を得て

実施してきました。まだまだ今後に向けては担い手や場所、実施方法など課題はありますが、介護予防・地域生活支援事業の一環として地域に根差したサロンを実施してきたいと考えます。

②ふれあいランチサービス事業（無料）

毎月 1 回、ボランティア、地区社協、民生児童委員等が手作り弁当を宅配し、単身高齢者（70 歳以上）と地域の方々とのふれあいを図るとともに健康・生活状況の確認等により在宅生活を支援しました。

★地区別配食数　　月平均配食数・・・807 食（26 年度 819 食 比較 12 食減）

地区名	延べ配食数
富 浦	710 食
富 山	830 食
三 芳	566 食
白 浜	1,607 食
千 倉	3,832 食
丸 山	1,013 食
和 田	1,127 食
合 計	9,685 食

協力ボランティア			
調理	1,045 人	月平均	87 人
配食	2,497 人	月平均	208 人

【事業評価】

昨年度より12食減ではありますが、民生委員をはじめ地域のボランティアの方々のご協力により欠かすことなく実施しており、これだけの多くの方々のご理解を得られることは驚くべき成果です。訪問時に体調不良などの異変に気づき救急搬送した事例もあり、地域の見守り・安否確認の面から事業効果は大きなものが得られています。

③紙おむつ配付事業

在宅で介護している家庭の負担を軽減するため、年4回紙おむつを無料配付し、在宅介護を支援しました。

（1）紙おむつ配付事業

要介護 3・4・5、重度障害者、療育手帳、精神障害者保健手帳を所持し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とされる方を対象に、年 4 回 1 回あたり介護度 3 は 3,000 円相当、介護度 4・5 は 5,000 円相当の紙おむつを支給しています。

★配布実績　　（単位：件数）

区　分	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
身　障	140	153	147	△6
要介護 3	146	133	118	△15
要介護 4	199	221	232	11
要介護 5	165	141	148	7
合　計	650	648	645	△3

【事業評価】

限られた資金を有効活用するため、ベッド上で過ごすことが多く介護を必要としている(寝たきり)方を対象としていますが、現状では実態を把握することがいささか困難です。ですが昨年度に比べ介護度 3 の方が 15 件減っている現状です。また、社協広報紙等でお知らせし、対象者からは「大変助かる」という声もいただいており、高齢者の多いこの地域には重要な事業のひとつですが、アンケートを実施したところ、「品目を増やして欲しい」、「介護度の軽い者でも対応して欲しい」等の意見もありました。現在、寝たきりの方が対象なので要介護3についての対応や品目変更が検討事項です。

(2)高齢者介護用品支給事業(市受託)

要介護 4･5 の高齢者で前年度、非課税世帯の方を対象に、年 4 回 1 回あたり 25,000 円相当の紙おむつ代を助成しています。

★配布実績　　(3月末給付実人数)

区　分	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
要介護4	31	23	28	5
要介護5	18	14	12	△2
合　計	49	37	40	3

【事業評価】

家族の介護負担軽減を目的としているため、独居高齢者等の支給条件の見直しがありましたが、高齢化が進む中では目立った増加は見られませんでした。

④交通空白地有償運送(旧過疎地有償運送)ボランティア移送サービス事業

会員制の移送サービスで、高齢者･障害者等の移動困難者に対して、運転協力者(ボランティア)が通院、買い物等の在宅生活を支援しました。

(1)会員登録数･･205 人　　(単位:人)

	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
利用会員数	174	163	139	△24
協力会員数	75	69	66	3

(2)ボランティア移送サービス利用実績･･1,978 件　　(単位:人)

内　容	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
延べ利用者数	2,008	1,888	1,978	90
延べ協力者数	453	413	453	40

★サービス内容　　(単位:件)

内　容	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
病　院	1,431	1,208	1,283	75
公共機関	125	134	130	△4
買 い物	401	490	516	26

その他	37	56	99	43
合　計	1,994	1,888	2,028	140

（3）運転協力者講習会

輸送の安全確保や、ボランティアの運転技術を維持するため講習会を開催しました。

★講習会開催状況

開催月日	内　　容	参加者数
4 月 30 日	移送サービス運転協力者講習会	8 人
1 月 21 日	移送サービス運転協力者フォローアップ講習会	34 人
合　　計		42 人

【事業評価】

年間延べ利用者は昨年度に比べ 90 人増となっておりそれに伴い協力者数も 40 人増加しています。過疎化・高齢化が進む南房総市では重要不可欠な事業として定着しています。また、ボランティア移送を実施していく上で、安全運転がとても重要ですので、講習会を実施し事故防止に心がけるとともに事故が起きてしまった場合の対応を徹底しました。

⑤福祉車両・福祉機器貸出事業

（1）福祉車両の貸出

車椅子仕様車両を無料で貸出し、病院の送迎や外出等の在宅介護を支援しました。

移送サービスと合わせてニーズは高く、新車の導入を図り、安全な運営に努めました。

※運転手は利用される方が手配しガソリン代は実費負担です。

★年間貸出実績　（単位：件数）

	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
福祉車両貸出件数	850	801	861	60
うち移送サービス件数	702	627	693	66

（2）福祉機器の貸出

車椅子、ベッド等の介護機器を無料で貸出し、家族の介護負担を軽減することで在宅介護を支援しました。

★年間貸出実績　（単位：件数）

福祉機器名	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
車椅子	83	79	84	5
ベッド	7	16	5	△11
その他	2	3	1	△2
合　計	92	98	90	△8

【事業評価】

福祉車両の貸出は昨年度に比べ 60 件の増、福祉器具の貸出は 8 件減っています。車椅子などはリサイクルボランティアの協力で、修理やメンテナンスを行ったため、貸出も充実したと思われます。利用者から「大変助かります。」という声もあり、介護保険サービスのつなぎ事業としても車輌・器具を整備し安全な運営に努めていくことが重要です。

⑥日常生活自立支援事業 （新規事業）

高齢者や障がいのある方がその人らしく地域で過ごすために、生活支援員が日常生活における財産の管理や福祉サービスの利用援助をサポートし、安定した生活を支援しました。

★年間実績

	27 年度
新規相談件数	8 件
新規契約件数	11 人
解約件数	0 人
契約件数（3月末）	11 人
現任支援員数	9 人

【事業評価】

27 年度からは、基幹社協として県社協からの受託事業として鴨川後見支援センターから市内利用者を移管し実施しました。それにより、身近な地域で相談受付からサービス提供まで一元的にかかわれることで、サービスを利用しやすい環境となりました。

⑦生活困窮者自立相談支援事業 （新規事業）

生活困難者の抱えている課題を分析し、そのニーズを把握。そして、個々のニーズに応じた自立支援計画を作成し、関係機関と連携調整を図りながら、就労等各種支援を継続的に行い、自立を支援しました。

★年間実績

	27 年度
新規相談件数	79 件
プラン作成件数	4 件
終結件数	1 件

【事業評価】

27 年度より南房総市からの受託事業として、相談窓口を 7 地区の福祉サポートセンターに設け、身近なところで相談できることをピーアールし事業を実施しました。専門の相談支援員が個々で解決できない問題や複合的な問題を相談者本人及び家族（世帯）と一緒に課題を整理し、寄り添いながら継続的に自立に向けた計画を作成しました。知的や精神的要因等によりこれまで潜在的となっていた生活課題を抱える方々の存在がいかに多く、これまで支援するすべがなかったことが判明しました。また社協の専門性が発揮できる新たな事業となったことは大きな成果でした。本事業が窓口となり専門機関と連携しあうことにより個々のニーズにあった支援体制を築けたこと、相談者

へ専門チームで支援をすることができたことが社協の基盤強化にも繋がったと考えられます。

⑧応急援護資金交付事業

火災、風水害等の被災者に見舞金をおくり、一時的に被災者の生活の支援体制の確保をしています。

★資金交付実績

交付内容	地　区	発生月
半焼	丸山	9月
全焼	和田	1月
合　計　　2 件　　150,000 円		

【事業評価】

昨年度に比べ火災件数は減少しました。今後も関係部署と連携を図って被災者の生活支援にあたります。

⑨福祉機器リサイクル事業

各家庭で不要になった車いす・歩行器等を受け入れ整備し、必要とする方に提供することで資源の有効活用を図りました。

★年間譲受・譲渡実績　　（単位：件）

福祉機器名	25 年度	26 年度			27 年度		
	在庫数	譲受数	譲渡数	在庫数	譲受数	譲渡数	在庫数
車椅子	8	11	3	16	5	5	15 （1 台廃棄）
歩行器 （ｼﾙﾊﾞｰｶｰ）	2	3	1	1 （3 台廃棄）	4	1	4
杖	12	3	2	13	7	2	18

【事業評価】

27年度はリサイクルボランティア2名が、毎月1回メンテナンスを行い、修理を実施しました。今年度は車椅子の利用が多くありました。今後も広報に努め資源の有効活用として機材を整備し提供していきます。

3 在宅生活を支援する資金の貸付

(1)資金貸付事業

生活保護申請者等の低所得者世帯や高齢者世帯、障害者世帯に資金を貸し付け、民生児童委員と連携し自立更正並びに生活の支援を行いました。

① 福祉資金貸付事業(市社協) (単位:円)

	件数	貸付額	償還額	償還未済額
27年度貸付	1	50,000	50,000	0
徴収不能金	1	90,000	0	90,000

	件数	貸付額	償還済額	償還免除額
償還免除	1	100,000	7,000	93,000

【事業評価】

27年度は、生活保護受給までの間、生活のつなぎ資金として貸付をしました。また、徴収不能金については、電話連絡や訪問を重ね償還指導を行いましたが、長年償還には至らないケースをやむを得ず1件免除としました。今後も引き続き滞納者には、指導を続けていきます。

②生活福祉資金・老障資金貸付事業(県社協)

★生活福祉資金貸付事業・・貸付件数 7 件 貸付額 4,500,000 円

★老障資金貸付事業・・貸付件数 なし

【事業評価】

教育支援資金、障害者等福祉用具購入費として貸付し、利用者の日常生活自立に向け支援しました。また、生活困窮者自立相談支援事業の利用者へ生活再建の資金として緊急小口資金を貸付し自立した生活に向けて支援しました。今後も貸付制度の広報啓発に努め周知を図っていきます。

4 ボランティア活動の支援

(1)ボランティア活動支援事業

①ボランティア連絡協議会の運営

ボランティアのネットワーク化、ボランティア活動の情報の提供やボランティア保険の受付などにより活動を支援しました。ボランティアまつりの企画開催やボランティア養成講座の開催など、自主的な事業も充実してきました。

②ボランティア・市民センターの整備

ボランティア登録団体数・・58団体(延べ1,060人)

③ボランティア養成講座

ボランティア活動を始めたい方、またボランティア活動に関心を持つ方を対象に専門的知識を身につけていただくため開催しました。

★ボランティア養成講座開催状況

講座名	開催日	内　　容	参加者数
ふれあいの居場所づくり講座	7 月 28 日	・総合支援事業とお達者サロンについて 講師：健康支援課　杉田修一係長 ・サロン活動の現状とニーズについて 講師：千葉県社会福祉協議会 地域福祉班長　会田　肇氏 ・お達者サロンの現状とニーズについて 説明：南房総市社会福祉協議会 羽山綾子	42 人
	7 月 31 日	・お達者サロンあさいの見学と体験 保健師とスタッフによる 「いつでもどこでもカンタン体操」	31 人
給食ボランティア	11 月 25 日 12 月 4 日 12 月 9 日 12 月 15 日	・食品衛生管理について 講師：安房健康福祉センター 大野藍莉氏　望月勝人氏 ※南房総市内 4 会場において実施 ※27 年度においての調理実習は、市ボランティア連絡協議会にて企画を検討し、実施しました。	194 人
福祉体験	6 月 22 日	・南小　手話体験	168 人
	11 月 18 日	・南小　高齢者疑似体験	
	11 月 27 日	・千倉中　手話体験 車椅子体験 高齢者疑似体験	
	1 月 14 日	・富山小　高齢者疑似体験	
	2 月 16 日	・丸小　車椅子体験	
災害ボランティア	9 月 26 日	・災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ立上げ訓練（基礎編） 講師：災害救援ボイランティア 天寺純香氏	166 人
	10 月 17 日	・災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ立ち上げ訓練 実演	
サマーボランティアスクール	8 月 19 日	・福祉講座　ボランティアについて 高齢者疑似体験・車椅子体験・ 認知症サポーター養成講座	49 人
	8 月 20 日 21 日	・施設体験 伏姫の郷　アイリスの里　光栄館 おもいやりの郷　千倉苑　リブ丸山 花の里	

【事業評価】

今年度からボランティアシステムを導入し、登録ボランティア人数や情報管理に努めました。

各講座についてですが、ふれあいの居場所づくり講座では、今後、介護予防・地域生活支援事業の一環の取り組みとして実施してくサロンについての講座を開催しました。地区で行うサロンや地区社協活動でのボランティア活動として実践できる内容を実施しました。

給食ボランティア講座では、必須である衛生管理についての講義内容を、できるだけ多くの方々が参加していただけるよう4会場で開催しました。昨年度の課題であった調理実習は、市ボランティア連絡協議会が主体となり検討し、実際に役立つ内容の調理実習を行いました。調理実習ではボランティアの目線で考えた講座内容だったため、参加された方々からは好評でした。

災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練では昨年度の講座を発展させ、自分たちの地域で災害が起こった時に、どの様に、どの場所でボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアを受け入れていくのかを2地区を取り上げ実践する内容としました。多くの地域の方々にご協力をいただき、実施することができました。災害が起こった時に、いつでも体制が整えられるように各関係諸機関との連携を図りながら、継続し訓練を重ねたいと考えます。

④ 災害救援ボランティア活動

災害救援ボランティア活動については取り組みまで至っていませんでしたが、27年度の災害ボランティア養成講座を開催した際に、災害救援ボランティアを募りました。次年度からは、組織づくりに向け取り組みたいと考えます。

⑤ ボランティア助成事業

ボランティアセンターに登録している団体のボランティア活動の活性化を図るため、団体の運営資金の一部を助成しました。

★助成金交付実績

件　数	合　計	ボランティア団体(グループ)助成金内容
44 団体	1,305,000 円	100,000 円× 1 団体 ＝ 100,000 円 (市ボラ連) 30,000 円×37 団体 ＝1,110,000 円 23,000 円× 1 団体 ＝ 23,000 円 22,000 円× 1 団体 ＝ 22,000 円 20,000 円× 1 団体 ＝ 20,000 円 10,000 円× 3 団体 ＝ 30,000 円

5 共同募金の推進

(1)共同募金事業

全国一斉に行われる共同募金運動は、10月1日から12月31日まで実施され区長さんを始め地域の皆様のご協力をいただき活動が展開されました。

①赤い羽根共同募金運動

区の役員さんをはじめ地域の皆様のご協力により実施していただきました。

皆様から寄せられました募金は、社会福祉大会・結婚 50 周年・福祉機器リサイクル・介護者のつどい・広報紙の発行など地域福祉を推進するために活用しました。

★募金実績　（単位：円）

	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
戸別募金	6, 666, 650	6, 520, 500	6, 543, 325	22, 825
学校募金	120, 833	108, 640	151, 062	42, 422
職域募金	25, 624	20, 403	20, 323	△80
個人募金	52, 000	56, 438	0	△56, 438
そ の 他	93, 427	92, 923	96, 337	3, 414
合　　計	6, 958, 534	6, 798, 904	6, 811, 047	12, 143

★募金箱コンクール

市内の小学生1年生～6 年生を対象に共同募金運動に関心を持ち、理解を深めてもらうため、募金箱コンクールを実施しました。57 点の応募があり、優秀作品 10 点を公共施設に設置し、募金箱として活用しました。

	低学年の部（1 年～3 年）			高学年の部（4 年～6 年）		
	学校名	学年	氏　名	学校名	学年	氏　名
最優秀賞	白浜小学校	3年	木曽心晴	南小学校	6年	川名碩人
優秀賞	丸小学校	3年	伊藤綾華	南小学校	5年	錦織愛理
	富浦小学校	2年	大井孝誠	和田小学校	4年	杉本大和
優良賞	富山小学校	3年	柴田美玲	富浦小学校	6年	石井晴也
	和田小学校	3年	根本悠香	千倉小学校	4年	安田知央

②歳末たすけあい運動

12 月 1 日から 31 日まで行われる運動では、赤い羽根募金同様戸別募金をはじめ市内中学生や民生委員さんの参加により道の駅3か所で街頭募金を実施し、多くの皆様のご協力をいただきました。寄せられました募金は、スローガンである「あったかいお正月」を地域で迎えられるよう、民生委員さんを通じて市内の支援を必要としている方々へお届けいたしました。

また、27年度は地域の方々に福祉への関心や理解を深めていただくため、福祉映画を上映する「みなみんふれあい映画上映会」を開催しました。

★募金実績　（単位:円）

	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
戸別募金	6,670,996	6,474,267	6,444,475	△29,792
街頭募金	89,892	112,074	85,592	△26,482
法人募金	23,024	20,000	20,000	0
職域募金	6,058	5,000	0	△5,000
個人募金	23,000	32,679	40,060	7,381
そ の 他	48,621	39,190	37,154	△2,036
合　　計	6,861,591	6,683,210	6,627,281	△55,929

★歳末たすけあい配分一覧　（単位:世帯）

分世帯(者)	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
要 保 護 世 帯	30	28	24	△4
独 居 高 齢 者	325	280	245	△35
寝 たきり高 齢 者	33	34	32	△2
寝 たきり障 害 者	14	10	11	1
重度心身障害者(児)	176	156	149	△7
母 子 家 庭	76	68	59	△9
父 子 家 庭	13	11	9	△2
児 童 養 護 施 設	1	1	1	0
特別養護老人ホーム	7	7	7	0
老 人 保 健 施 設	3	3	3	0
知 的 障 害 者 施 設	1	1	1	0
グ ル ー プ ホ ー ム	6	7	6	△1
小 規 模 多 機 能 施 設	3	3	3	0
小規模特別養護老人ホーム	0	1	1	0
合　計	688	610	551	△59
	3,875,000 円	3,515,000 円	3,205,000 円	△310,000 円

★みなみんふれあい映画上映会の開催

開催日	タイトル	参加対象者	参加者数
1 月 16 日	それいけ！アンパンマン クイール　盲導犬の一生	市内にお住まいの方	195 名

【事業評価】

27 年度の募金箱コンクールでは、昨年度より応募者が 19 点増えました。赤い羽根募金について啓発活動として実施していますが、社会福祉大会での表彰もあり、親子での参加もいただいています。赤い羽根募金を身近に知っていただく事業と思われます。

歳末たすけあい配分金は配分委員会において配分内容を精査し、59 件減少しています。次年度に向け、減少について分析し配分対象を今一度見直し、支援に必要な方々へお届けで

きるよう確認していきたいと考えます。

災害時には、各学校でも児童会や生徒会が自ら募金活動を行っており、共同募金運動の啓発活動として浸透してきているのではないかと思われます。

27年度、新たに福祉映画を上映する「みなみんふれあい映画上映会」を開催しました。親子ご家族、障がいをお持ちのご家族などのご参加をいただきました。「身近な場所で上映会に参加でき良かった」という意見もありました。実施内容等を更に検討し次年度実施したいと考えます。

6 居宅介護の支援

(1)介護保険事業

①居宅介護支援事業（ケアマネージャー1 名）

介護保険法に基づき、要介護・要支援認定者にケアマネージャーによるケアプラン作成や、介護保険施設、医療機関との連絡調整、また介護に関する相談受付支援などを行い、在宅介護を支援しました。

★ケアプラン作成　（単位：件）

	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
要 介 護	362	367	360	△7
介護予防	45	63	69	6
合　　計	407	430	429	△1

【事業評価】

昨年度比でケアプラン作成数はほぼ同じ。よりニーズに対応できるようスキルアップし、作成数を増やしていく努力が必要です。

②訪問介護事業（ホームヘルパー7名）

介護保険法に基づき、要介護者へホームヘルパーによる訪問介護を提供し、在宅生活の支援をしました。

★高齢者の訪問介護

		25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
利用者数（人）		857	884	505	△379
訪問介護内訳（件）	身体介護	1,757	1,606	886	△720
	生活援助	1,553	2,317	1,831	△486
	身体生活	193	101	271	170
	乗降介助	2,505	1,921	1,410	△511
	介護予防	1,141	1,282	186	△1,096
	合　　計	7,149	7,227	4,584	△2,643

【事業評価】

昨年度に比べ、身体生活以外の内容で、実績は大きく減っています。平成27年度は正職員・臨時職員それぞれ1名減員でのスタートとなったことと、年度末で正職員2名が退職することを見据

え、新規利用者の受入の制限や、現利用者の調整を行ったことで、実績の大幅減となりました。

(2)障害福祉サービス事業

①相談支援事業・居宅介護事業

障害者総合支援法に基づき、関係機関、医療機関と連絡調整しケアプランを作成、またホームヘルパーによる訪問介護を提供し、在宅生活を支援しました。

★障害者の相談支援事業

利用者数	14 人

★障害者の居宅介護

	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
利用者数(人)	97	91	85	△6
訪問回数(回)	1,093	1,044	785	△259

【事業評価】

居宅介護は昨年度より利用者の減により実績は減少していますが、身体・精神障害者の相談支援事業では14人の居宅介護計画を作成し、在宅生活を支援しました。次度相談支援事業については、支援員の退職により廃止します。

(3)介護保険外事業

① 在宅生活支援事業

★高齢者生活指導員派遣事業

要介護及び要支援の認定を受けていない65歳以上の方を対象に、在宅生活で支援を要する高齢者や障害者にホームヘルパーを派遣し日常生活等に関する支援や指導をしました。市独自のサービスであり、介護予防につなげる重要なサービスとなっています。

	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
利用者数(人)	85	71	61	△10
訪問回数(回)	323	267	216	△51

【事業評価】

今後、要支援状態となる方の支援に、地域の社会資源を活用した「介護予防・日常生活支援総合事業」を適用していく方向にあることから、事業の廃止も視野に入れ、市と協議が必要になります。

② **高齢者外出支援事業**（登録者数71人）

単身高齢者及び高齢者世帯、介護保険該当者をホームヘルパーが通院や買い物等の支援を行いました。

★外出支援件数

		25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
自立	利用者数（人）	540	511	472	△39
	利用回数（回）	1,139	950	833	△117
要介護	利用者数（人）	469	424	353	△71
	利用回数（回）	1,323	1,045	766	△279
合計	利用者数（人）	1,009	935	825	△111
	利用回数（回）	2,462	1,995	1,599	△396

【事業評価】

昨年度に比べ利用者は111人の減少、利用回数は 396 回の減少で、年々減少傾向となっていますが高齢化が進み、かつ過疎地である当市では公共交通機関を利用し、自力で外出することが困難な高齢者が多いため、ニーズの高い事業となっています。しかしながら、職員の減員などにより、ニーズに応えきれない状況も出てしまいました。今後は事業内容の見直しなどを市と協議する必要があると考えます。

7 社会福祉協議会の活動基盤整備

①会員募集の加入状況　（単位：件）

	25 年度	26 年度	27 年度	前年度比較
一般会員 （市内全世帯）	13,354	13,555	13,180	△375
賛助会員 （活動に賛同される個人など）	372	447	405	△42
特別・施設団体会員 （福祉施設・団体など）	208	177	170	△7

②福祉基金積立額

基金の種類	積　立　額
福祉振興基金	90,125,423　円
災害対策基金	6,825,487　円
ボランティア基金	1,503,124　円
合　計	98,454,034　円

理　事　会　議　案　一　覧　〈平成２７年度〉

番号	会議回数	提案年月日	出席者数	番号			日程	件名	審議結果
				議案	報告	その他			
1	1	H27.5.20	12	1			1	平成２６年度事業報告並びに決算の認定について	承認
2				2			2	平成２７年度補正予算（第１号）について	承認
3				3			3	評議員の選任について	承認
4	2	H27.5.26	12	4			1	会長の選任について	承認
5				5			2	副会長の選任について	承認
6	3	H26.9.24	14	6			1	平成２８年度業の運営方針等について	承認
7					1		2	平成２７年度南房総市指導監査結果について	承認
8					2		3	専決処分の承認を求めることについて ・平成27年5月29日専決第4号　障害者自立支援法に基づく南房総市社協ホームヘルプサービス指定居宅介護事業運営規程（居宅介護及び重度訪問介護）の一部を改正する規定の制定について	承認
9	4	H28.1.22	10	7			1	専決処分の承認を求めることについて 平成27年5月29日 専決第5号　職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について 専決第6号　職員の期末手当及び勤勉手当の支給に関する規程の一部を改正する規程の制定について 専決第7号　職員の管理職手当の支給に関する規程の制定について	承認
10				8			2	専決処分の承認を求めることについて 平成27年11月30日　専決第8号　平成27年度補正予算（第2号）について	承認
11				9			3	南房総市社会福祉協議会福祉功労被表彰者の決定について	承認
12					3		4	平成２７年度第１０回南房総市社会福祉大会の開催について	承認
13					4		5	諸規程の制定について ・特定個人情報取扱規程 ・コンピュータ情報システム運用管理に関する規程	承認
14					5		6	南房総市社会福祉協議会の組織及び事業について	承認
15	5	H28.3.24	11	10			1	定款の一部を改正する定款の制定について	承認
16				11			2	職員就業規則の一部を改正する規則の制定について	承認
17				12			3	職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について	承認
18				13			4	職員の旅費に関する規則の一部を改正する規則の制定について	承認
19				14			5	平成２８年度事業計画について	承認
20				15			6	平成２８年度予算について	承認
21				16			7	職員の初任給、昇格、昇級等の基準に関する規程の一部を改正する規程の制定について	承認
22				17			8	事務局組織規程の一部を改正する規程の制定について	承認
23					6		9	施設の指定管理について	承認
24					7		10	平成２８年度事務局組織体制について	承認

評　議　員　会　議　案　一　覧　〈平成２７年度〉

番号	会議回数	提案年月日	出席者数	番号			日程	件名	審議結果
				議案	報告	その他			
1	1	H27.5.20	20	1			1	平成２６年度事業報告並びに決算の認定について	承認
2				2			2	平成２７年度補正予算（第１号）について	承認
3				3			3	理事の選任について	承認
4				4			4	監事の専任について	承認
5	2	H28.1.25	25	7			1	専決処分の承認を求めることについて 平成27年5月29日 専決第5号　職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について 専決第6号　職員の期末手当及び勤勉手当の支給に関する規程の一部を改正する規程の制定について 専決第7号　職員の管理職手当の支給に関する規程の制定について	承認
6				8			2	専決処分の承認を求めることについて 平成27年11月30日　専決第8号　平成27年度補正予算（第2号）について	承認
7					1		3	南房総市社会福祉協議会福祉功労被表彰者の決定について	承認
8					2		4	平成２７年度第１０回南房総市社会福祉大会の開催について	承認
9					3		5	諸規程の制定について ・特定個人情報取扱規程 ・コンピュータ情報システム運用管理に関する規程	承認
10					4		6	南房総市社会福祉協議会の組織及び事業について	承認
11	3	H28.3.24	23	9			1	定款の一部を改正する定款の制定について	承認
12				10			2	職員就業規則の一部を改正する規則の制定について	承認
13				11			3	職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について	承認
14				12			4	職員の旅費に関する規則の一部を改正する規則の制定について	承認
15				13			5	平成２８年度事業計画について	承認
16				14			6	平成２８年度予算について	承認
17				15			7	職員の初任給、昇格、昇級等の基準に関する規程の一部を改正する規程の制定について	承認
18				16			8	事務局組織規程の一部を改正する規程の制定について	承認
19					5		9	施設の指定管理について	承認
20					6		10	平成２８年度事務局組織体制について	承認